

質問書に対する回答

件名) 京葉道路 京葉市川PA (上り線) 工事

No.	質問箇所	質問事項	回 答
1	設計図5 溝渠工	図面(17/20)より 鋼矢板と仮排水管との離隔が少なく、排水管に影響を及ぼすことが考えられます。 影響が発生した場合には、変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	そのとおりお考えください。
2	設計図5 溝渠工	図面(17/20)の 地質柱状図より鋼矢板の打ち込みが困難と考えられます。 不能となった場合は、変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	鋼矢板の打ち込みは可能と判断していますが、現地条件の変更等により監督員が必要と認めた場合は、変更協議の対象とお考えください。
3	設計図5 溝渠工	図面(17/20)より 土留支保工が長方形ではないため、加工が発生します。 変更協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	加工については、共通仕様書2-8-11に示すとおり、構造物掘削の施工に必要な費用に含まれるものとお考えください。
4	設計図6 調整池工 設計図3 附帯工	調整池工 図面(10/15)より 上流部調整池 数量表は、コンクリート(C2-1)511.3m ³ 、(D1-1)29.0m ³ と金抜設計書67コンクリート(C2-1)、68コンクリート(D1-1)及び、参考に公表されている数量計算書が合致します。 その他 附帯工 図面(31、32、38/54) 材料表より合計69.1m ³ が確認できますが、調整池工(2/15)の材料表(2)の底張コンクリート(C1-1)429.6m ³ 、敷モルタル29.2m ³ 、基礎コンクリート(D1-1)152.3m ³ や図面(42/54)階段工のコンクリート数量などは、計上されているでしょうか。また、金抜設計書に含まれていると考えればよろしいでしょうか。もしくは、協議の対象と考えてよろしいでしょうか。	設計図 調整池工(2/15)の材料表(2)の底張コンクリート(C1-1)429.6m ³ 、敷モルタル29.2m ³ 、基礎コンクリート(D1-1)152.3m ³ や設計図 附帯工(42/54)階段工のコンクリート数量については、それぞれの関連する単価項目に含まれます。